



帝塚山学園広報誌

Vol. 13  
2022/Oct.  
令和4年10月20日発行

帝塚山大学・帝塚山高等学校・帝塚山中学校・帝塚山小学校・帝塚山幼稚園



# 「選ばれ続ける総合学園」をめざして

帝塚山学園は令和3(2021)年に創立80周年を迎えました。

昭和16(1941)年の創立以来、「社会に有為な人材を育成する」との建学の精神の下、「人間性を養う」、「よい人間をつくる」、「よい人柄をつくる」、「よい品性を培う」からなる「教育の根本理念」を掲げ、2歳児教育・幼稚園から大学・大学院まで、学園の宝である学生・生徒・児童・園児それぞれの発達段階に応じて心身共に正しく伸ばしてゆく「帝塚山教育」を教職員一丸となって推進し、保護者、地域、企業、自治体、関係機関をはじめとするさまざまな皆様のご支援、ご協力のもと、80年にわたり社会に有為な人材を送り出してまいりました。

また、本年度からは学園の各学校園、法人本部の重点目標とそれを達成するための行動計画を明らかにした6年間におよぶ「帝塚山学園第5次中期計画」がスタートしました。同計画においても帝塚山学園はあるべき姿として、「帝塚山教育を通じて、変化する時代に選ばれ続ける総合学園」をめざし、これを実現するために、「教育内容の質の維持向上」、「組織力の強化」、「経営基盤の強化」の3つを重要な柱と位置付け、従前の計画に引き続き、全力を尽くしているところです。



# Contents *T-time* Vol.13

卷頭特集 ..... P 03

「ひろがる」「つながる」教育連携

活躍する卒業生 T-voice ..... P 07

帝塚山小学校58期生 Milia Suvorova さん

大 学 ..... P 09

「県内大学生が創る奈良の未来事業」最優秀賞を受賞

TOPICS

第16回あかね祭／学生手帳 表紙デザインアワード 大賞決定

キャンパス整備／大学博物館所蔵「獅子頭」

中学校・高等学校 ..... P 11

学園祭・高校体育祭

TOPICS

「古代米田んぼプロジェクト」／医学部一直線

ジャバパン・ナショナル・オーケストラの弦楽部来訪／実用英語検定試験1級合格

小学校 ..... P 13

英語づけの国内留学

TOPICS

交通安全教室／日本の未来を考える特別授業

睡眠の重要性を学ぶ特別授業／中高同窓会との連携による「街たんけん」

幼稚園 ..... P 15

てづくり祭り

TOPICS

春の遠足／田植え

園外保育／七夕祭り

学園前アートフェスタ2022 ..... P 17

・同窓会だより(中高) ..... P 20

・学園創立80周年記念事業 総括／記念募金ご芳名一覧 ..... P 21



社会経済環境に目を移しますと、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は教育現場にも大きな変容をもたらしましたが、更なる少子化やグローバル化の進展、DX、Society5.0時代の到来など、社会の急速な変化にも的確に対応した帝塚山教育が必要となっています。このような変化する時代において、「選ばれ続ける総合学園」となるために帝塚山学園は不斷の努力を重ねてまいります。



「T-time」(第13号) 表紙

生駒山に沈む夕日

日本の原風景ともいえる奈良県明日香村の国営飛鳥歴史公園内のキトラ古墳周辺地区「キトラの田んぼ」を舞台に中高の生徒が参加している「田んぼプロジェクト」(本誌12ページ参照)。このプロジェクトに参加している生徒が9月に催された現地でのイベント「古代米を愛する会」で自分が通う学校について「学校には好きなところがたくさんあるが、校舎から見える夕日はとても気に入っている」と紹介しました。

学園前キャンパスからは、西の方角に雄大な生駒山を望むことができ、日の入りの時間帯になると、街はオレンジ色に穏やかに染まっていきます。キャンパスが近鉄学園前駅と接続しているため、電車の往来も移りゆく景色とあわせて楽しむことができます。

(撮影:令和4年9月26日)



UD FONT

# 「つながる」 「ひろがる」 教育連携

2歳児教育・幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学そして大学院までを擁する帝塚山学園。特に、学園前キャンパスは同一敷地内にすべての校種が共存する教育環境となっています。その特色を存分に生かして、帝塚山学園ではさまざまな学校間連携事業を積極的に推進しています。この数年は新型コロナウイルスの影響もあり、取り組みもいくらか限定的に行われる形となりましたが、コロナ禍での活動のあり方をなんとか見出し、各種事業を再開、充実させています。帝塚山学園でますます「つながる」「ひろがる」教育連携の実例をごく一部になりますがここにご紹介します。



## 学園農園での野菜の栽培

大学×小学校×幼稚園

6月下旬、小学校5年生の児童と幼稚園年中の園児がじゃがいもや玉ねぎの収穫をしました。訪れたのは学園前キャンパスから歩いてすぐにある学園農園。駅前キャンパスでありながらこの距離に大きな畑があるのは大変魅力的です。到着後、先生や現業員さんから注意事項を聞き、いよいよ収穫がスタート。児童と園児がペアになって掘り進めていくと、土の中から顔ほどもある大きな玉ねぎやおもしろい形のじゃがいもが次々と出てきて、畠のそこら中で笑いが起きました。園児が上手に掘れないところは小学生が優しく声をかけながらサポートする様子も。みんなで力を合わせ、じゃがいもと玉ねぎがどっさり収穫できました。とれたての野菜は、幼稚園の給食や大学の学生食堂でその週の特別メニューとして出されています。

この農園は大学の学生サークル「てづかfarm」の学生

が現業員のみなさんと協力しながら管理しているもの。てづかfarmに所属の濱本深佑梨さんと畠山葵衣さん(ともに現代生活学部食物栄養学科3年)は「春休みのうちに芋を切ったり肥料をまぶしたりと植え付けにはいろいろな工夫をしました。おいしく味わってほしい」と話していました。実際に野菜を栽培したことによって「野菜のビタミンなどの栄養素やジャガイモの毒素(ソラニン)などを一層意識するようになった」とのお話も。園児からは現業員さんや大学生に感謝のメッセージが寄せられ、「かわいいらしい。(コロナのため)一緒に収穫作業ができなくて残念」(濱本さん・畠山さん)。食堂掲出のポスターも手掛けた濱本さんは「てづかfarmは学園農園での野菜の栽培だけでなく、虹色祭(大学祭)での模擬店出店など今後もいろいろな活動をしていきたい」と話していました。



この日のメニューはとれたてのじゃがいもを使ったコロッケ



とれたじゃがいもを力を合わせて収穫箱に運びます



大きな玉ねぎを引き抜き満足げな園児



てづかfarmの濱本深佑梨さん(左)と畠山葵衣さん



てづかfarmの関係者に送られたメッセージ



年中組が収穫したじゃがいもや玉ねぎの入ったカレーを食べる園児

だいがくせい しょくいく じゅぎょう  
**大学生による食育授業**

**大学×小学校×幼稚園**

6月下旬、現代生活学部食物栄養学科の学生が幼稚園を訪問。年少・年中・年長全6クラスで食育授業を行いました。学生はこの日のために紙芝居を用意。絵が動いたり、「特別キャラ」が出現したりと随所に工夫が凝らされた力作です。この日、幼稚園を訪問したのは同学科の濱田汐里さんと伊達美空さん。いつもと違う先生の登場に園児たちは真剣にお話を聞いていました。紙芝居を読み終えた二人は、「園児からの反応があつて嬉しい。年少組はすごく素直で、年長は少し大人な印象」と話していました。紙芝居の内容も「当日の給食の食材であるピーマンにテーマを設定しました。給食だけでなく、家庭でも食べてもらえるようピーマンのレシピも印刷して先生に配ってもらいました」と継続して食べる大切さにも着目。管理栄養士に加え、栄養教諭もめざしている学生にとって大切な時間となりました。食育授業は小学校でも全学年・全クラスで実施されました。



ピーマンが好きな園児も苦手な園児も真剣に話を聞いていました



自作の紙芝居をもつ濱田汐里さん(右)と伊達美空さん

しょうがく ねんせい ようちえん ねんちょうぐみ かんげいかい  
**小学1年生による幼稚園年長組歓迎会**

**小学校×幼稚園**



1年生の手拍子で迎えられる幼稚園児

6月中旬、帝塚山小学校の体育館を幼稚園の年長組の園児が訪れました。来年から1年生になるにあたり、小学校はどんなところなのかを少し早めに体験します。

最初は少し緊張していた園児ですが、優しい1年生とジャンボじゃんけんや、プレゼントしてもらったストロー飛行機で一緒に遊ぶうちにいつのまにか笑顔に。幼稚園に戻ってからも「とても楽しかった!」と少し大人になった大満足な様子を先生たちに見せていました。

きゅうしょく  
**「給食センター」見学**

**大学×小学校**

6月中旬、生活科の学習の一環で小学校2年生が東生駒キャンパスの大学を訪れました。およそ400人分もの給食が毎日どのように作られているのか、調理作業の大変さを実際に目にし、児童たちはさらに関心を高めていました。センターの方からお話を聞こうと大学の教室にも初めて足を踏み入れました。小学校のものとは全く違う機能的な長机やいすに驚いた様子でした。お話は、栄養バランスを考慮した献立づくり、野菜や肉など大量の食材の調達や調理、給食を作る設備など多岐にわたり、児童は皆、興味津々でたくさんの質問も寄せられました。この日の献立はできたてほやほやのカレーうどん。普段はおいしく食べている給食ですが、この日はセンターの皆さんのが労を思い起こしながら、じっくりと味わって食べていました。



給食づくりの説明に対し、質問をする児童

## 幼稚園キンダーカウンセラー事業

大学×幼稚園

「幼稚園キンダーカウンセラー事業」は、幼稚園における子育て支援のニーズを踏まえ、大学心理学部・大学院心理科学研究科が有する心理相談援助機能の充実、活用を図るとともに、公認心理師や臨床心理士を目指す大学院生等の実習等の場を確保することを目的とした事業で、幼稚園と大学との間で令和4年に連携協定を締結したものです。これらの活動には、大学に設置されている「こころのケアセンター」も積極的に関与し、専門的な知見に基づいた豊富な支援実績を生かしています。

本事業の一環として、6月27日には心理学部・心理科学研究科式部陽子講師により、「親子のプラスのかかわりを増やすヒント～子どもの良いところ探し・ほめ方のコツ～」をテーマとした講演会が行われました。発達支援や子育てに関する式部講師の専門的見地からのアドバイスにとどまらず、参加者相互によるワークや実演がふ

んだんに盛り込まれ、充実した講演会となりました。特に、ワークでは「良いところ探し」として、子どもだけでなく、自ら自身を振り返り、がんばったこと、好ましい行動といったエピソードをリストアップ、参加者相互に披露しました。ペアワークでも、子ども役と、親役とに分かれ、実践的に学ぶプログラムが行われました。会場の保護者からも熱心に質問がなされました。

また、7月からは、心理専門職を目指す大学院生の検査技能の修得を目的として、協力園児を募り、心理学部・心理科学研究科山口祐子准教授の指導のもと大学院生による発達検査が行われ、園児の発達支援や子育てに活かされています。

本事業では、今後、子育ての悩みや発達上の不安についての相談対応など活動を一層充実させていく予定です。



協定書を手にする蓮花大学長、塚本幼稚園長、奥村大学副学長(左から)



大学心理学部・大学院心理科学研究科式部講師による講演会



ペアワークの感想を全体で共有

## 小学校教員のための アドベンチャー・カウンセリング研修

大学×小学校

大学では、卒業後に社会に貢献できるさまざまな能力・資質を身につけることをめざし、学生への教育、学生支援にあたっています。そのうち、チームで活躍できる能力を育成するためには対人コミュニケーションやチームビルディングといった対人スキルが強く求められます。そのために大学では全学的にアドベンチャー・カウンセリングの手法を用いた教育を積極的に推進しています。

8月下旬、このアドベンチャー・カウンセリングを研

究・推進されている心理学部の川合悟教授、全学教育開発センターの小西浩嗣講師、同センター元根朋美准教授がファシリテーターとなり、小学校の全教員を対象としたアドベンチャー・カウンセリングを用いた研修会を実施しました。実際に体を動かすさまざまなプログラムに先生たちもすぐになじんだようでした。この研修によりアドベンチャー・カウンセリングへの理解を深めるとともに、小学校教育への活用、教員組織の強化が期待されます。



円になってのトレーニング。息をあわせた動作が必要です



大縄跳びを教員が一団となってくぐり抜けます



登り手と支え手のコミュニケーションが重要な局面

「つながる」「ひろがる」教育連携

## 大学教員の研究テーマにスポットを当てた 映像作品の制作

大学×中高

終戦記念日が近づくこの日、高校放送部3人が顧問の平澤悟教諭の引率により、大学法学部末吉洋文教授のもとを訪問。末吉教授がゼミ生と研究を続けている「青い目の人形」について、興味関心を寄せた放送部員が秋の大会に向け、映像作品としてとりまとめることとなり、インタビューの収録が実現しました。

「青い目の人形」は1927年に親善を目的にアメリカから日本に贈られた人形ですが、大戦以降、多くが燃やされるなどし、奈良県内に現存するのは4体のみとなっています。このことについて、末吉教授はゼミ所属の学生と調査、報告書にまとめています。放送部員の辻上真生さん、上野聖奈さん、

石原さちさんは質問を事前に検討し、当日もインタビュー、マイク、カメラ担当に分かれ、丁寧なやりとりを心掛けていました。部員は末吉教授から人形の保管先を紹介され、早速アポイントをとっていました。さらなる取材にあたり、映像作品をまとめるということです。

高校放送部は、第69回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会で入賞、第46回全国高等学校総合文化祭で第一位（優秀賞）など輝かしい実績を有しています。

末吉教授のゼミ生がまとめた報告書は帝塚山大学学術機関リポジトリ（<https://tezukayama.repo.nii.ac.jp/>）から閲覧できます。



末吉教授（左）の話を聞き漏らすまいと顧問の平澤先生の指導も熱が入ります



放送部員によるインタビューの様子

このほかにも…

### 中学校・高等学校における 大学教員による カウンセリング業務

大学×中高

臨床心理士および公認心理師の資格をもつ経験豊富な大学心理学部教員が週1日、中高の教育相談室で中高の生徒や保護者とのカウンセリング、教職員への個別相談にあたっています。

### 大学教職課程の学生に対する ロボットを使った 試行錯誤体験の醸成

大学×中高

教職課程の授業で扱うロボットプログラミングを通じたさまざまな試行錯誤や失敗体験を重ねることにより、大学生が困難に立ち向かう姿勢を醸成することを目的とした事業がスタートしました。これから本格化します。

今回、掲載した取組はごく一部です。次号以降継続して、学園内の教育連携事業を紹介していきます。

## 大学キャンパスでの 小学生の「国内留学体験」

（13ページに詳細掲載）

大学×小学校

小学校3・4・5年生を対象とした特別プログラム「国内留学」は、コロナ禍でなかなか海外に行けない中で、あえて普段と異なる大学キャンパスに身を置き、国際感覚を磨くとともに、異文化に触れ、理解する力を養うことを目的として行われているものです。



## 「土曜親子教室」への中高教員の参画

中高×幼稚園

幼稚園で実施している「土曜親子教室」。9月下旬、中高で理科を教えていた梶間聰教諭が講師として来園され、紫キャベツを使った実験をしました。凍らせた紫キャベツから抽出した液をレモン果汁やせっけん水、糸こんにゃくなどと混ぜると見事に七変化。この不思議な色の変化に「次は何色に変わらのかな」と子どもたちは興味深々な様子。保護者の方も梶間先生の丁寧な説明に熱心に耳を傾けていました。





小さいころからバレエに対する強い思いがあつたのですね。入学されたワガノワバレエ

(記事を見て)懐かしいですね。5年前はちょうどビロシア国立ワガノワバレエ学校に本格的に入学する時期でした。バレエは幼少期から習っており、中学生の段階で既にワガノワへの短期滞在も認めてもらっていました。海外のバレエ学校に入学することについて、その年齢になれば親元を離れて、寮生活を送るのは当然のことだと思っていたので、特にホームシックになることなどはありませんでした。

ワガノワには世界中から何千人もの人が入学を希望しますが、その中から認められるのはわずか数10人という世界です。入学してからも規律正しい寮生活や厳しいレッスンが待ち受けいました。バレエにはどうしてもけががつきものですが、10人のうち8人は疲労骨折などをしていました。食事の管理も厳しく、もちろん太ってはいけないし、やせすぎてもダメです。このような過酷な環境のため、学校を去っていく人が多く共に学ぶ仲間は毎年新しい顔ぶれとなっていました。体力もですが、精神的にも強さを求められる厳しい世界です。

Miliaさんは2017年に本誌に登場いたきました。ありがとうございました。これから5年がたちましたかがいかがですか。

学校は超名門と聞きました。そこではどのような生活を送られたのですか。

## 帝塚山小学校 平成27年3月卒業 **Milia Suvorovaさん** ミリア スヴォローヴア

今号の「T-voice」は特別企画。2017年の「T-time」創刊号に掲載の「こんなにちは先輩」に卒業生として登場くださったMilia Suvorova(ミリア・スヴォローヴア)さんに再びスポットを当てます。Miliaさんは2017年第12回伊達クラシックバレエコンペティション MIYAGIで1位、インターナショナル バレエ アンド コンテンポラリー ダンスコンペティション ドメニコ・モドゥーニョ(ジュニアクラシック女子)(イタリア)でも1位と輝かしい実績をあげている注目のバレエダンサーです。登場から5年がたった「今」をお話ししていただきました。



数々のコンペティションでの受賞メダル  
(Miliaさん提供)

想像以上に厳しい環境を乗り越えてこられたのですね。そのような中、世界中で新型コロナウイルスがまん延し、いまだ収束の兆しが見えません。バレエ学校がロシアにあるということで今般の国際情勢の影響も気になります。学校生活を送る上でも影響があつたようですが。

そうですね。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、学校からは自宅待機を命じられました。他の学生はそれぞれ母国に帰るなどしていましたが、私は「バレエを続けたい」との思いが強く、食事や生活用品の買い出しもままならない中、学校にじどまる決意しました。次第に学生や教員にも感染者が出始めて、公演もなんとかメンバーをやりくりして行う状況に陥りました。事態がより深刻化すると、じよじよ空港の閉鎖など行動の制約も一段と厳しいものとなり、やむなく日本に戻る気持ちを固めました。大好きなバレエができるなくなるとの思いもありましたが、この機会に長く痛めていた足の手術を行うことができたチャンスともどもいました。これまで痛みを抱えながら、手術のタイミングを探っていたのですが、長期離脱は許されず、なんとかレッスンをこなしてきました。今回、精密検査の結果、足のかかとにある軟骨が細かく碎かれるという極めて特殊なケースであることが分かり、その除去のための手術はこの機会でなければできなかつたと思います。退院は早かつたのですが、術後のリハビリには3か月を要しました。



撮影：井上大志氏

本当に大変な思いをされ、バレエ学校を卒業されたのですね。卒業から息つく間もない8月には、なら100年会館で「ジゼル」全幕の公演がありました。1840年代から踊り継がれるバレエの代表作ともいえる作品で見事に主役を演じ切られたと伺いました。

ありがとうございます。練習は出演者が個々に取り組んできましたが、メンバーが全員集まつたのは10日前で、舞台監督をはじめとしたスタッフとともにリハーサルを行つた。これまで痛みを抱えていましたが、この機会に長く痛めていた足の手術を行うことができたチャンスともどもいました。これまでは痛みを抱えながら、手術のタイミングを探つていたのですが、長期離脱は許されず、なんとかレッスンをこなしてきました。今回、精密

バレエダンサーは一見優雅で華やかな姿が目に浮かびますが、実際はけがとの戦いや食生活への配慮など、まるでアスリートのようですね。その中で、支えとなつてている小学校からの友人は本当に大事な存在ですね。Miliaさんは帝塚山幼稚園の3年間と帝塚山小学校の6年間、あわせて9年間を帝塚山で過ごされましたと伺いました。印象に残っている出来事などはありますか。



幼い頃からレッスンを受けてきたスタジオで

足の手術を終えたので、バレエのために現地にどどることを強く希望しましたが、国際情勢が深刻になるにつれ、SNSがつながりにくくなるなど家族に安否を伝えることも徐々に難しくなつてきました。やがて生活を送ることそのものも厳しい状態となり、他国での短期滞在を経る形で日本に戻らざるを得なくなりました。6月には卒業式に出席するために、一時的に現地に向かいましたが、滞在も短期間を余儀なくされました。

本当に大変な思いをされ、バレエ学校を卒業されたのですね。卒業から息つく間もない8月には、なら100年会館で「ジゼル」全幕の公演がありました。1840年代から踊り継がれるバレエの代表作ともいえる作品で見事に主役を演じ切られたと伺いました。

サルを重ねていきました。公演間近になつて、6回目の剥離骨折、さらに靱帯損傷が判明し、満身創痍の中での舞台となりました。踊りに集中するも不思議と痛みを感じないこともありますが、他の出演者に迷惑をかけてしまふと不思議と痛みを感じることもありますが、他の出演者に迷惑をかけてしまふと不思議と痛みを感じないこともあります。が、私は今もまだ完治していない状況です。ただ、終演後、観客席から見ていていた友人がすぐさま駆け寄つてくれ、本当にうれしく思いました。特に小学校時代の同級生は公演のたびに応援してくれて、大切な心の支えとなつています。



若くして海外に飛び立ち、まさに激動する世界に身を置き、ひたすらに努力を続いているMiliaさん。「国際情勢や新型コロナウイルス感染拡大など予期しない状況の中、多くのバレエダンサーが懸命に道を探つています」と現状を冷静にとらえていました。「これからはバレエ以外のことにも挑戦してみたい」とも話すMiliaさん。このたび小学校で行われた国内留学体験（本誌13ページに掲載）の運営にも協力してくださいました。バレエを通じて身についた国際的な感覚に基づき、彼女ならではの視点をもつて、真剣な眼差しでこの5年間を語つてくださいました。Miliaさんの今後の一層の活躍が期待されます。

令和4年度  
「県内大学生が創る奈良の未来事業」公開コンペ



プレゼン当日に向けて何度も練習を重ねました

## 本学初の最優秀賞に輝く 「県内大学生が創る 奈良の未来事業」公開コンペ

この日は、応募13件の中から書類審査を通過した6グループがプレゼンテーションに挑みました。帝塚山大学からは2グループが参加。学生たちは指導教員のもと、それぞれ所属する学部学科に関する専門知識を生かし、学生ならではの視点から政策について検討を重ね、本番に挑みました。

コンペ会場は奈良県庁（奈良市登大路町）の議会場。日頃、県議会で実際に使用されている場とあり、緊張の度合いがいつも高まります。心理学部（指導：中地展生教授、山口祐子准教授）が登場したのは4番目。「子どもたちの心の健康をサポートする」心理教育アプローチの活用（代表：鈴木諒さん）をテーマとした提案で、新型コロナウイルス感染拡大以降、一層課題となっている子どものメンタルヘルスへの支援について政策をまとめ、審査員にアピールしました。これに続いて、法学部（指導：笹邊将甫准教授）が「大学生が先生！大学生と学ぶ交通安全教室♪」を提案。交通事故の防止は県でも重要な政策課題としており、事前に小学校にリサーチをするなど周到に準備を進めていました。これがグループ1の発表技術を磨いており、審査員の質問にも堂々と答えています。

審査の結果、心理学部の提案が見事最優秀賞を受賞しました。過去帝塚山大学は平成24、25、26、27年度の3度、入賞を果たしてきましたが、いずれも優秀賞にとどまっており、今回はそれを越える快挙。法学部は残念ながら入賞を逃しましたが、最終コンペに出場という実績を残しました。この日を戦った6チームは大学の垣根を越え、それぞれに健闘をたたえあっていました。心理学部の学生は県の担当部署に立ち上げられるプロジェクトチームに参加。来年度は事業化に向け、具体的な検討が続けられます。

「県内大学生が創る奈良の未来事業」（主催：奈良県）公開コンペが3年ぶりに行われました。



法学部のグループも健闘しました  
(発表は法学部白井亜友華さん(3年))



荒井正吾奈良県知事ら審査員との記念撮影の様子



心理学部若崎類さん(4年)の発表の様子

## 自分好みに「着せ替え」可能 学生手帳表紙デザインアワード大賞決定!

(5月15日)

学生参加型で実施された「学生手帳表紙デザインアワード」。このたび受賞者が決定し、あかね祭にあわせて行われた表彰式に応募総数31点から見事大賞を受賞した中から梅谷委世さんと高嶋ひかるさん(いずれも現代生活学部居住空間デザイン学科3年)が登壇しました。二人の共作は、東生駒キャンパス正門から入って見える校舎の風景と空の青色がとてもインパクトのある作品です。

大学ではこれまで、フォトコンテストや川柳コンテストなど学生参加型のコンテストを多数実施してきました。今回の企画は、学生生活課を中心に進められ、学生生活委員会(委員長:奥村由美子副学長)さらにデザイン分野に明るい大里浩二現代生活学部居住空間デザイン学科准教授の参画も得て、学生のアイデアを大切にしつつ、同時に著作権にも配慮しながら厳正な選考が行われました。

受賞作品が表紙となった手帳はすでに配布済ですが、惜しくも受賞を逃した作品デザイン19点について大学ホームページから自由にダウンロードが可能です。

コロナ下で従来の学生生活がかなわなかった学生にとって、この手帳が、毎日の生活の楽しみや修学意欲の向上につながることが期待されます。



好みのデザインに自由に  
「着せ替え」できます

(ダウンロード先URL) [https://www.tezukayama-u.ac.jp/news/2022/schedulebook\\_template/](https://www.tezukayama-u.ac.jp/news/2022/schedulebook_template/)



蓮花学長から賞状と記念品  
が手渡されました



大賞を受賞した梅谷さん  
と高嶋さんの作品

## 工夫と努力を重ね… 「あかね祭」を開催(5月15日)

短期大学時代の「茜祭」を受け継ぎ、新入生の歓迎を目的として行われている「あかね祭」。今回は「枠を超える 未来を創る」をテーマに開催され、新たに会場となった東生駒キャンパスには多くの学生が集まりました。あかね祭は新型コロナウイルスの影響を受け、一昨年はやむなく中止、昨年は初のオンライン開催として学生が努力を重ねて取り組んできました。今年は感染予防対策を講じつつ、本来のあかね祭の形に近づけるために対面とオンライン配信によるハイブリッド形式で開催、できるだけ多くの学生が参加できるよう工夫を凝らしました。

会場特設ステージでは、音楽系団体が練習の成果を披露。午後からは蓮花学長の開会宣言に続き、あかね祭恒例のお笑いライブ、ダンスショーなど次々とプログラムが進んでいました。各教室での催しの中には、あかね祭実行委員会からの要請を受けての心理学部による交流イベント「ふれあい広場」も行われました。また、各クラブ・サークルも今年の入学式以降、本来の形での新入部員の勧誘がようやく再開されたことを受け、新入生の入部相談にあたっていました。実行委員会を中心とした学生の努力と工夫の中で行われたあかね祭は大盛況のうちに幕を下ろしました。



華道部の生け花体験



新入生へのクラブ紹介

## 「地域連携」「異校種連携」「大学連携」 さまざまな連携を生み出した「獅子頭」

文学部・人文科学研究科高田照世教授の指導のもと、同学部・同研究科の学生らが奈良大学の協力を受けて行った赤外線撮影調査により、大学附属博物館が所蔵する獅子頭が約200年前に山口市徳地地区で制作されたものであること、さらに同じ年代の銘を持つ獅子頭が同地区の神社に保管されていることが判明。これを契機に、山口市歴史民俗資料館での獅子頭の展示企画が実現。同じ作者の手による「兄弟」獅子の生まれ故郷での200年ぶりの「再会」が多く県民の前で果たされました。これと並行して、地域文化の保存・継承を目的に大阪電気通信大学の協力のもと軽量の獅子頭の模型を制作。本学学生が講師を務めた現地報告会では、同地区にある山口市立柚野木小学校の児童がこの模型「令和の獅子頭」で獅子舞を披露しました。一連の取組は新聞やテレビでの報道、さらには山口市の広報誌の表紙など、幅広い媒体、エリアで取り上げられました。疫病を退治し、縁起がよいと言われる獅子頭。「地域連携」「異校種連携」「大学連携」などさまざまな連携を生み出しました。



山口市歴史民俗資料館  
「獅子頭つながる人と郷土」での出展が実現

〈写真左〉獅子頭が  
山口市の広報誌の  
表紙を飾りました  
〈写真右〉「獅子頭里  
帰りプロジェクト」で  
学長表彰を受けた学  
生たち

## 大学キャンパスが さらに機能的に、快適に

学園前キャンパス16号館では、安全、安心かつ快適なエコキャンパスの実現をめざし、改修工事が行われています。空調機の更新だけでなく、照明器具のLED化、エレベーターの遮煙性能等の機能向上等、建物の安全性の向上と教育研究環境等の改善が図られます。工事期間は令和4年4月～令和6年3月を予定しています。



大規模工事が進む学園前キャンパス16号館



〈写真左〉東生駒キャンパスでは、正門の歩道が整備され、歩きやすくなりました。〈写真右〉学園前キャンパスでは、5号館に居住空間デザイン学科の実習施設「DESIGN Lab.(デザインラボ)」が誕生。製図台や大型作業台、木材加工機を備えたガラス張りの明るい空間です





• 中学校・高等学校 •

# 熱く盛り上がりました 学園祭・体育祭を実施

〈4月27日・28日／5月30日〉

**新**型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制約がかかる中、各種行事が工夫を凝らして実施されました。

4月下旬には、中高合同の学園祭が2日間にわたり開催されました。昨年は規模や内容を縮小した形で実施されましたが、今年は消毒、換気等の基本的な感染症対策をや3密を避ける等の万全の対策をとるとともに、ステージや展示会場は密を作らない形でも楽しめるよう工夫や配慮を行い、実行委員を中心としたユーノーマルな形の学園祭が創り上げられました。

今年のテーマは「坂面舞踏会」。

生徒はマスクならぬオリジナルの「仮面」を身につけて催しに参加するなど、新型コロナを逆手にとった演出がみられました。体育館では、学園祭の花形ともいえるメインステージで軽快な音楽に乗せてのダンスやソーラン節などが披露されました。模擬店は従来の飲食からゲームなど趣向を凝らした内容に改められ、クラスごとに巡回する形での参加となりました。講堂では文化クラブの発表が無観客で行われ、各クラスの教室王一競争で鑑賞する対策がとられました。食堂ではクラブの展示・活動紹介も行われま



中学校の体育祭は10月4日に開催  
(上:中3女子集団演技 下:中3男子集団演技)

意地をかけた白熱した闘いとなり、予選を勝ち抜いた上位3チームによる決勝レースで歓声とともにゴールテープを切ったのは男子は野球部、女子はバスケットボール部でした。

総合優勝は黄団が勝ち取り、3年生にとっては最後の体育祭が幕を降ろしました。閉会式では池辺校長が色団対抗によるチームワークの素晴らしさや実況で場を盛り上げた放送部へのねぎらいの言葉を述べていました。

意地をかけた白熱した闘いとなり、予選を勝ち抜いた上位3チームによる決勝レースで歓声とともにゴールテープを切ったのは男子は野球部、女子はバスケットボール部でした。

夏を思わせるほどの暑さの中、一層の盛り上がりを見せました。

## 「本当に医師になりたいか」真正面から向き合う医学部一直線 (7月8日・11日・12日・13日)

近年、国公立大学医学部医学科へのめざましい進学実績をあげている高校では、仲島浩紀進路指導部長のもと、医師をめざす生徒のための特別プログラム「医学部一直線」が実施されています。



4日間に及ぶプログラムは単なる受験指導にとどまらず、医師という職業の実際を知り、一層の理解を深めることを目的としており、今年は60名を超える生徒が参加しました。初日の河合塾の山口和彦氏による講演では受験に向けた貴重な情報が提供されました。本校教員による小論文や面接の対策講座では、なぜ医師になりたいのか、自分の考えを徹底的に追究し、伝えるための訓練が行われました。さらに南奈良総合医療センターから明石陽介医師を迎えての奈良県のへき地医療の現状、また明石先生ご自身の経験を踏まえた講演も。講演後には明石先生からヒントを得ようと多くの生徒が質問の列を作っていました。プログラムの最後には、長崎大学医学部森藤香奈子教授による生命倫理に関するワークショップが行われました(右上写真)。出生前診断というテーマについて、親として医師としてどのように向き合うか生徒たちは真剣に議論を行っていました。

このような取り組みは学外からも注目されており、医療情報誌「ハロードクター」からも取材を受けました。



明石陽介医師による講演



「ハロードクター」誌の取材を受けました

## 実用英語検定試験1級に見事合格!

中高で受験を奨励している資格検定のひとつに実用英語検定試験があります。このたび、最難関である1級に松本季子さん(2年K組(現3年K組))が見事合格を果たしました。

母親からの勧め等もあり、4級からこつこつと取り組んだ松本さん。1級は最初から目指しているわけではなく、準1級の合格を機に挑戦してみようと思ったとのこと。1級はリーディングの長文やリスニングはなんとか対応できても語彙のレベルが格段に上がるため、単語帳を繰り返し覚えたとのことです。また、2次試験では自身の主張を論理的に述べる必要があり、英字新聞やニュースに積極的に触れるだけではなく、ネイティブの先生が常駐するランゲージセンターも存分に活用し、実践的な模擬面接を受けたそうです。「小学生の時イギリスのバンドであるワン・ダイレクションに興味をもち、曲の内容をもっと理解したい」と、英語への関心を高めた松本さん。3年生になり、弦楽部の活動も引退し、受験勉強にいそむ傍ら、国際NGOユースグループで唯一の高校生メンバーとして活動をしているとのことです。「英語の力がなければとても参画してなかっただろう」と振り返っていました。



英検1級合格証書を手にする松本季子さん

実用英語検定試験1級・準1級・2級合格者は次のとおり(団体受験のみ掲載)

【2021年度合格者】(学年・クラスは昨年度のものです)

1 級: 松本季子(2-K)

準1級: 小澤眞子(1-I) 河上愛奈(1-J) 丸橋侑青(2-A) 阿部成吾(2-B) 吉岡美侑(2-G)

岩鶴多希・中川弥佳・尾藤綾香・松下露海(2-J)

2 級: 中野瑛斗(1-2) 富山裏奈(1-7) 関本心來(2-2) 富田光毅(3-2) 城間穂(3-4)

井上真結乃(3-5) 井上愛梨・西村葵衣・横田楓(3-6) 川尻愛実・伍々和奏・高尾茉央・

橋本理子(3-7) 福田香音(3-8) 伊藤咲希・奥井菜々子・平山音果(3-9)

【2022年度第1回合格者】

準1級: 中林樹里(2-G) 沢田佳歩・松村咲来(2-J) 清水志穂(3-J)

2 級: 小林紗綾(3-7) 上田和奈(3-8)

## 「田んぼプロジェクト」パワーアップして2022年度もスタート (6月19日・7月10日・9月18日)

中高の生徒が奈良県明日香村の国営飛鳥歴史公園内のキトラ古墳周辺地区「キトラの田んぼ」で稻作を行う「田んぼプロジェクト」。日本の原風景ともいえる飛鳥で農家との共同稻作体験を通じ、「農」の観点から伝統や文化、産業、社会を幅広く学び、理解することを目的とする取組で、3年目を迎えた今年は例年を大きく上回る中学1年から高校2年まで32名もの生徒が参加しています。



田植え当日は、本プロジェクトを推進する敷穂教諭のもと、現地農家の樽井一樹さんと瀬川健さんの指導を受けました。無農薬・無肥料での稻作の苦労話に耳を傾け、田んぼ独特の泥の感触の中、カブトエビなどの水生生物も気にしながらも懸命に植え付けを行っていました。7月には雑草を取り除く作業を行うために再度集結。草と稻をなんとか見分けながら、しぶとい雑草と格闘していました。9月には「古代稻を愛でる会」が開催。田んぼ一面、古代米の「神丹穂」赤色の稻穂が秋の風にやさしく揺れています。生徒たちはリーダー役を務める上級生のもと、班ごとに害虫や益虫、稻作の歴史など幅広いテーマに沿った発表を行いました。10月の収穫が楽しみです。

なお、本プロジェクトは帝塚山学園同窓会(中高)からも支援がなされています。



泥の中を丁寧に植え付けています



秋の風に神丹穂が揺れる田んぼの前で

## 「ジャパン・ナショナル・オーケストラ」のメンバーが弦楽部の指導に来られました (6月2日)

ピアニストである反田恭平氏が代表取締役社長を務めるジャパン・ナショナル・オーケストラ株式会社(Japan National Orchestra (JNO))と奈良県との連携協定に基づきスタートした「未来の演奏家育成事業」の一環として、弦楽部がある中高へのJNOメンバーによる来訪が実現しました。

指導にあたってくださったのは、大江馨さん(ヴァイオリン)、長田健志さん(ヴィオラ)、水野優也さん(チェロ)、大槻健さん(コントラバス)。早速ヴァイオリンとチェロによる「パッサカラ」(ヘンデル作曲ハルヴォルセン編曲)の二重奏が披露されるといつもの音楽室の空気は一変。特別なコンサートホールに変わったかのようでした。演奏後、担当楽器ごとに分かれ、弓の使い方や音の響かせ方といった技術面だけでなく、それぞれの楽器が担う役割の重要性に至るまで実践的で丁寧な指導がありました。パート別での練習の後は、再度一堂に会し、弦楽部顧問の寺島洋之教諭の指揮のもと、JNOのメンバーとともに日頃から練習を重ねている弦楽セレナーデ(チャイコフスキーアルメニア作曲)の第4楽章を演奏。夢のようなセッションに興奮冷めやらぬ中、JNOの皆さんから思いやりのこもったメッセージが寄せられました。



熱のこもった指導がなされました



あこがれのJNOメンバーと記念撮影



## 英語で学び、国際感覚を養います 英語づけの「国内留学」（9月14～16日）

**W**hat do you know about Philippines? [Can you tell me where Democratic Republic Of the Congo is?] — 次々と英語が飛び交う空間は大学東生駒キャンパス1号館の一室。英語以外は禁止との約束のもと子どもたちは社会科の授業を真剤に受けています。この特別プログラムである「国内留学」は、「ロナ禍でなかなか海外に行けない中で、あえて普段と異なる環境に身を置き、国際感覚を磨くとともに、異文化に触れ、理解する力を養うことを目的として行われているものです。英語を学ぶのではなく、英語で学ぶことを特色としており、英算数や社会、工作、アクティビティなど丸一日英語づけの生活を送ります。講師の先生の出身国もカナダ、トルコ、チエコ、フィリピン、パキスタン、コソボ民主共和国、オーストラリア、イタリアと英語圏以外の国も含み、多様性に配慮。児童は個性豊かな先生の授業を順番に受け、わいわいながら「留学」体験をしました。

「Please make your original city!」先生の声に最初は緊張気味だった児童も工作の時間となるとリラックスした表情に。白地図に学校や水族館、スーパーなどを切り抜いたイラストを貼りつけ、自分だけの街をつくっていました。授業中にトイレに行きたくなつても「May I go to the toilet?」と、あらかじめ調べておいたのかスマートなやりとりも見受けられました。

昼食後はグループで力を合わせてのクイズワーカー。先生のもとをめぐつて日常会話や英単語クイズに挑みます。すべての関門をクリアすると満足げに特別なシールをゲットしていました。

最後のセレモニーでは、名残惜しご気持れなぐいとらえ、児童全員で「Thank you for the lesson!!」と元気よく挨拶をすると、先生たむかうせ「We love you!!」と元気よく答える。トマトトマトペーパーの芯を活用して蝶やてんとう虫を作ります。「Decorate your butterfly wings with color balls!」「Please small eyes! Long antennae!」と英語が飛び交うなか、色ひつじのかわいいふくらみ虫を完成させました。アクティビティでは椅子取りゲームや先生考案のじゃんけんが行われるなど、この日も盛りだくさんでした。

プロジェクトを修了した3年生の児童には、後日certificate(証明書)が発行されました。



英語でやりとりし、ちょうどが完成しました(3年生)



ジェスチャーキズ。もちろん回答も英語です



英語で社会の授業を受けます



少し緊張気味な英語での自己紹介

## 「財務大臣」になって予算を作ろう!

〈7月15日〉

この日は、6年生の教室に近畿財務局奈良財務事務所長はじめご関係者をお招きし、「自分の将来のために日本を考えて」をテーマに、税金や国の予算について学びました。

前半は、教育や消防、救急、医療など公共サービスには多くのお金がかかりことやその財源は税金であること等について、丁寧な説明がありました。

後半は、自分が「財務大臣」になったつもりで、国の予算を作るワークにとりかかりました。国の課題は何かを明確にし、その解決のためにどの分野にどのくらいのお金を配分するのかをグループごとに検討します。議論の結果、あるグループは、少子高齢化といった課題に対し、医療にかかる予算を手厚くすべき、また別のグループは、昨今の国際情勢を踏まえ、安心・安全につながる分野に予算を計上すべきと「大臣」による発表がありました。石油の価格高騰といった社会の現状を踏まえ、エネルギー分野への配分が必要との意見に対しては「着眼点がすばらしい。日頃から社会の動向を注視するのがいちばん大事」とのコメントが寄せられました。



出た意見をタブレットに入力すると  
すぐに結果を共有できます



グループごとに議論の結果をまとめ、報告します

## 眼下に広がる学園前の街 〈4月25日〉

3年生が社会科学習の一環として行う「街たんけん」。この日は、帝塚山学園同窓会(中高)の協力を得て、キャンパス内の16号館の最上階から学園前の街を見下ろしました。同窓会室があるのは9階。学園前エリアにはこれより高い建物はありません。この位置からだといつも過ごしている校舎はかなり低く見え、近鉄電車も真下を走っているので、学校が駅前にあることもよく分かります。子どもたちは事前に調べた地図と目の前の景色とを照らし合わせ、方角や土地の活用の仕方を確認するなどし、自分たちが過ごしている学園前地区への愛着を一層強くしていました。



改修工事の安全ネット越しに学園前の街の様子を調査します

## こうつう 交通ルールを 〈7月4日〉

まち  
しっかり守りましょう

この日は、1年生と4年生を対象に交通安全教室が行われ、奈良西警察署と奈良市役所危機管理課の方が来校されました。体育館は信号や横断歩道、電車の踏切など街の風景が再現されており、入館した1年生はびっくり。この「街」を実際に歩いて交通ルールを守る大切さを学びます。横断歩道の前では「信号が青になても車が来ていないかしっかり左右を見てね」「子どもは小さくて車からは見えにくいので手を挙げて渡りましょう」と指導員の方が一人ひとりに優しく声をかけていました。4年生には道路標識や自転車の乗り方について話してくださいました。自転車で走ってもよい場所やヘルメットの装着、万一事故が起きた場合の保険の重要性などに関する説明に児童は熱心に耳を傾けていました。



横断歩道は手を挙げて渡ります(1年)



自転車の走行ルールの説明(4年)

## じんせい 人生の3分の1は眠っています

ねむ  
睡眠の大切さを知る 〈9月9日〉

「クイズです。人間が100歳まで生きたとすると、そのうちどのくらい眠っていると思いますか。」いつもと違う生活リズムで過ごした夏休みが終わって間もないこの日、西川株式会社から「スリープマスター」の資格をもつ富下瞳さんが来校。クイズを交えながら丁寧な解説をしてくださいました。答えが「33年間」と明かされると体育館に集まった小学1・2年生の児童は驚いた様子。睡眠は身体の成長や記憶の定着に非常に重要で、特に1・2年生のうちは10時間は眠っておきたいと話していました。事前の保護者アンケートでも就寝時刻の遅い児童がいくらかいたようで、「9時までにリラックスできるパジャマに着替えて『おやすみ』と言ってから眠りにつき、寝る前のテレビやゲームもなるべくやめましょう」と、良い睡眠を習慣化するためのアドバイスも。

後半は、EXILEのパフォーマーとして活躍しているEXILE TETSUYAさん監修のフィットネスプログラム「EPI Quality」からインストラクターのKARENさんとMOEMIさんが登場。リラックスして眠りにつけるよう考案された「おやすみダンス」のレッスンを行いました。ゆったりと手を上げ下げしたり、座った状態で胸に手を当てたりと上手に体を動かしていました。おやすみダンスを終え、「なんだか眠くなってきた」と早速効果が現れた子ども、教室に戻ったとん踊る子どももいました。

しっかりと学び、遊びためには、何より生活リズムが重要で、そのためには質の高い睡眠が肝心であることを知りました。



講師と一緒にやりとりをしながら説明がなされました



壇上でおやすみダンスの模範演技に児童はくぎづけになっていました



## はなび だいこうふん おみこし・花火に大興奮! ねんちょうぐみ 年長組「てづキッズ祭り」

〈8月29日〉

年

長組が参加する「てづキッズ祭り」が今年も

開催されました。いつも幼稚園がちょうど  
ん飾りでいっぱいになつていて、お友達とも久しう  
りに会えたこともあります。園児たちは大興奮。気にお  
祭り気分になりました。

いつも過ごしている教室もこの日は「お楽しみ  
コーナー」に大変身。宝探しや空き缶積み、コイン落  
としなど楽しい露店がいっぱい。園児たちはどれ  
からチャレンジしようか迷っている様子でした。  
ヨーヨー釣りでは何個も釣り上げる園児もいて先  
生たちは関心していました。輪投げに成功した園児  
は「僕はいいからお姉ちゃんにあげる」とやさしい心  
遣いで景品を選んでいました。それぞれのコーナー  
でシールを集め、全部まわることができた園児には  
とつておきのプレゼントが用意されていました。

お庭ではすいか割りに夢中になっていました。自  
己隠しをして「右! もっと前!」と先生やお友達の声  
を頼りに力強く棒を振っていました。見事に割れた  
すいかはみんなでおいしくいただきました。

その後はおみこしリレーです。夏休み前に園児た  
ちは大きな「かき氷」の模型をがんばって制作。お友  
達4人で協力し、「かき氷」を崩さないよう、倒さな  
いよう、慎重に運びたいのですが、勢い余っておみこ  
しが壊れてしまうハプニングも。まわりの「わっしょ  
い! わっしょい!」との掛け声に励まされ、必死に担  
いました。

だんだん暗くなつてお祭りも終盤に。こんな時間  
まで幼稚園で過ごせることに園児たちの興奮の度  
合いも高まります。最後のお楽しみは、園庭での打  
ち上げ花火。育友会の皆様と先生方が準備したた  
くさんの花火に次々と着火され、すっかり暗くなつ  
たお庭に色とりどりの花火が打ち上ると大きな  
歓声があがりました。

年長組は入園と同時に新型コロナウイルスによ  
る行動制限を受けた学年で、窮屈な思いをするこ  
ともありました。ですが、今日は本当に特別な一日とな  
りました。



きれいな花火に見とれています



ねらいを定めてがんばって輪を投げ  
ています



うまくすいかを割ることができたで  
しょうか



「ヨーヨーが釣れた!」いちばんに先生  
に見せていました

## どろんこになりながら… 田植えをしました〈6月10日〉

この日、年長組は田植えに挑戦しました。園児たちは小林弘明帝塚山幼稚園育友会長のご厚意で京都府相楽郡精華町の田んぼを訪問。これまで幼稚園で大切に育ててきた苗を植えようと裸足になっておそるおそる田んぼに入る園児たち。その不安もすぐに晴れて、早速元気に「田んぼリレー」をしました。小林会長から植え方を教わり、いよいよ田植えです。初めは苗が倒れてしまうこともありましたが、園児一人ひとりがやさしく上手に苗を植えていました。

田植えが終わると冷たい飲み物で水分補給。その後は、網や虫かごを手にあぜ道を駆け回る園児たち。田んぼにはたくさんの種類の生き物がいます。一人で何匹もかえるをつかまえる園児もいて、先生を驚かせていました。

苗も子どもたちもどんどん成長して、秋にはたくさんのお米が収穫できるといいですね。



水面にキラキラと園児の姿が反射しています



クラス対抗の「田んぼリレー」



ひと苗ひと苗心をこめて植えています



田んぼにはいろいろな生き物がいます

## 七夕祭り〈7月5日〉

7月、全園児がリズム室に集まって七夕祭りをしました。園児たちは自分たちでこしらえた星の頭飾りをつけ、輪飾りや五色紙、短冊など、一生懸命作った七夕飾りを一生懸命笹にくくりつけていました。年少組には年長組の園児が手伝うなどし、みるみるうちに色とりどりの笹になりました。その後、各学年の代表が願いごとをみんなの前で発表(写真横)。園長先生からもすてきな願いごとが寄せられ、笹のいちばん高いところにとりつけられました(上部写真)。七夕祭りのクライマックスは先生達による七夕の由来をテーマとしたパネルシアターです。表現力豊かな先生のお話に園児たちは熱心に見入っていました。



みんなで協力して飾りつけをしています



先生によるパネルシアター

## 季節を感じて、自然にふれて ～春の遠足～〈5月11・16・18日〉

5月、学年ごとに春の遠足に出かけました。年少組は幼稚園バスに乗って大渕池公園(奈良市中山町西)に出かけました。車窓からの移り変わる景色にふだんは通園バスを利用しない園児は喜びを見せていました。新緑ゆたかな公園の広場には、幼稚園とは違った大型遊具がいっぱい。園児たちはのびのびと遊んでいました。たくさん体を動かした後は、大きな大きな木の下でみんな集まって昼食の時間。めいっぱい遊んだ後なのでみんなもりもりと食べていました。遠足ではおやつタイムも楽しみな時間です。お昼のあとも水辺にいるあめんぼや草花に興味津々の園児たち。大満足で公園を後にしました。

年中組は東大寺大仏殿、年長組は若草山登山に遠足に出かけました。(右上円内写真)



大きな大きな木の下で休憩



外で食べるおにぎりは格別です

## 生駒山麓公園で 夏季園外保育をしました〈7月22日〉

例年、年長組は夏の時期に「お泊り保育」をしていますが、新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、「園外保育」を実施することとなりました。今年は生駒山麓公園に出かけました。公園ではいくつかのグループに分かれ、順次アクティビティを楽しみました。一番の楽しみはカヤック体験です。一人ずつライフジャケットとヘルメットを着用し、これだけで気分が高まります。インストラクターから丁寧な説明を受けたあと、一人ひとりカヤックに乗り込み、いざ出航。最初は思うようにパドルを扱えませんでしたが、慣れてくるとお友達と競争したり、追いかけっこしたりととても楽しそうな様子を見せていました。

野外では、木片を利用してのネックレスを作りました。いろいろな色のペンで思い思いに絵や模様を書いて、先生に穴を開けてもらえばネックレスのできあがり。中には木の実をボンドではりつけ、立体的な作品をつくった園児も。できあがったネックレスは大切に持ち帰っていました。昼食後は公園にあるローラー滑り台やぐらぐらゆれる渡り橋、雲梯など大型遊具で思う存分遊びました。楽しい夏の思い出の一つになりました。



力強く上をめざして登っています



笑顔でパドルを操る園児たち

# 「学園前アートフェスタ2022」が開催されました

帝塚山学園が参画している周遊型のアートイベント「学園前アートフェスタ2022」(主催:学園前街育プロジェクト実行委員会[構成団体:奈良市学園南地区自治連合会、学校法人帝塚山学園、公益財団法人大和文華館、公益財団法人中野美術館、公益財団法人奈良市生涯学習財団西部公民館、奈良市・西部会館市民ホール(日本環境マネジメント株式会社)、株式会社浅沼組、GALLERY GM-1])が2年振りに開催されます。今年のテーマは[Canvas as Campus]。11月5日から12日にかけて学園前地区一帯で開催されます。その開催に先立ち、イベントが次々と行われています。

## シンポジウム「文化振興による地域創造～街育～」が開催されました



奈良市西部会館市民ホール(学園前ホール)にて、シンポジウム(学園前街育プロジェクト実行委員会主催)が開催されました。今回のテーマは「文化振興による地域創造」。活力に富む「街」とは何か、地域や街の活性化の切り口の一つである文化振興による地域創造について、文化政策に関する専門家による基調講演、さらには自治体や産業界、芸術・文化界等、各分野の識者による話題提供がなされました。会場には80名を超える市民が集まり、さまざまな視点にもとづく地域創造の課題や方向性、今後のあり方について議論されました。

シンポジウムの開会にあたり、学園前街育プロジェクト実行委員会委員長を務める富岡将人理事長(学園長)が、2015年に帝塚山学園の働きかけによってスタートしたアートフェスタについて、これまでの経緯が振り返られるとともに、今回のテーマである「文化振興による地域創造」について活発で実りある議論に期待したいとの挨拶がありました。

基調講演では、藤野夫芸術文化観光専門職大学副学長・芸術文化・観光学部教授が登壇されました。「文化的コモンズをつくるアートプロジェクト「街育」の魅力」をテーマに、日本さうに日本における文化・芸術とまちづくりの実例を丁寧に振り返りながら、文化的景観を守っていくための地域コミュニティにおける

アートプロジェクトの必要性や「文化的コモンズ」について、専門的見地からの説明がなされました。

これに続き、4名のパネリストがそれぞれの立場から話題提供を行いました。まず、向井政彦奈良市副市长は、「奈良市における文化振興」をテーマに、これまでの取り組みや経緯、令和4年度から新たにスタートした「第2次奈良市文化振興計画」について解説しました。続いて、外岡栄自近鉄不動産株式会社アセット事業本部賃貸事業部学園前駅開発プロジェクト担当部長が「近鉄学園前駅を中心としたまちづくりリアルバム」と題し、学園前地区のまちづくりの経緯について、1942(昭和17)年の近鉄学園前駅開設から現代に至るまで、当時の貴重な写真を中心に振り返りました。浅野秀剛学園前街育プロジェクト実行委員・公益財団法人大和文華館館長は「日本のアートプロジェクトと学園前アートフェスタ」を演題に、日本各地のアートプロジェクトの実態をふまえ、現状や課題を整理しました。最後に、西尾美也奈良県立大学地域創造学部准教授は「地域創造としてのアートマネジメント」をテーマに、同大学の実践型アートマネジメント人材育成プログラム「CHISOU」について、大学教員、アーティスト、企画者としての立場から解説しました。

後半のパネルディスカッションでは、北澤嘉浩帝塚山大学現代生活学部居住空間デザイン学科教授をモーティベーターに迎え、基調講演を行った藤野氏、パネリストの向井氏、外岡氏、西尾氏、浅野氏の4名に加え、住民代表として、廣嶋嘉昭学園前街育プロジェクト実行委員会副委員長、猿橋裕子同実行委員会委員らがそれぞれの立場から、地域や街の活力、活性化のための文化振興の必要性、地域創造について議論を行いました。対象を現代アートのみならず、伝統芸能や音楽、演劇など幅広いジャンルに多角化していくべき文化・芸術を通して住民自治を実現する必要性などが示されました。また、多くの美術館を擁する学園前地区の魅力を再確認するとともに、住民こそが重要な地域の資源であるとの意見も出され、フロアとのやりとりもなされました。



挨拶をする富岡将人理事長・学園長・学園前街育プロジェクト実行委員会委員長

北澤嘉浩帝塚山大学現代生活学部居住空間デザイン学科教授



浅野秀剛学園前街育プロジェクト実行委員・公益財団法人大和文華館館長



向井政彦奈良市副市长



外岡栄自近鉄不動産株式会社アセット事業本部賃貸事業部学園前駅開発プロジェクト担当部長



藤野夫芸術文化観光専門職大学副学長・芸術文化・観光学部教授

廣嶋嘉昭学園前街育プロジェクト実行委員会副委員長(右)と猿橋裕子同実行委員会委員



西尾美也奈良県立大学地域創造学部准教授



## 「周遊マップ」デザインコンペ

アートフェスタ開催期間に学園前エリア内の展示スポットを巡るのに必要なマップ。これまでの開催では、特に県外からの来場者に対し、より分かりやすい案内が必要ではないかとの意見、またアートフェスタと学生たちの遊びとをより結びつけてはどうかとの意見を受け、帝塚山大学で都市計画やデザインを学ぶ居住空間デザイン学科の学生に対し、マップ作成の協力を依頼がなされました。今回のコンペには、同学科で「デジタルデザイン実習Ⅱ」の科目を履修する学生が挑戦。学科選考を経た5名が最終審査に参加しました。

学生のプレゼンに先立ち、指導教員である同学科大里浩一准教授は「マップに掲載するクーポンの参

加盟店数が当初予定から大幅に増え

るなど、制作過程で条件が目まぐ

るしく変わった。限られた紙面ス

ペース、予算等条件のある中で、学

生自線で粘り強く創意工夫してい

るのでぜひ注目してほしい」と学生

の熱心さをアピールしました。

審査には、学園前街育プロジェクト実行委員会委員や本大学教員のほか、地域にお住まいの皆さんにも加わっていただき、幅広い視点から



プレゼンに挑む学生



賞状を受け取る田中さん

評価を受けました。学生はこの日のために実際に周遊ポイントを巡るなど相当な時間をかけて準備をしてきました。持ち時間の間にスクリーンに映写された作品を指し示しながら、季節を意識した色合いやデザイン、手にとどてもらうために工夫した点など他者との違いを熱心にアピールしていました。審査はかなり白熱し、予定の時間を大幅に超過してまとまりました。結果、田中みちるさん(4年の作品)が1位に選ばれました。2位は大下ひかりさん(4年)、3位は榎本嵯千さん(3年)となりました。賞状を授与した実行委員長である畠岡理事長・学園長からは「大学に入学し、さまざまな学びを続けここまでものを見上げる能力に驚いた」との講評が。第1位に輝いた田中さんは、「大里先生からは幅広い年齢を意識したデザインが大事との助言がありました。制作過程でパソコンがフリーズしデータがすべて消えて大変だった。締め切り間際は寝る時間もなく、苦労した成果なので、マップを手にした人が学園前を行き交うのを早く見たい」と語っていました。

※マップはアートフェスタ会期中に学園前エリア各所で配布されます。



審査委員による審査の様子



審査委員の質問に的確に回答します

第1位に輝いた  
田中さん(中央)と  
2位の大下さん(左)  
3位の榎本さん



## 地域の子どもたちによる ワークショップ

夏休みも終盤を迎えたこの日、帝塚山大学教育学部の学生名を超える子どもたちが集まりました。舞台には幅4.5メートル、高さ1.8メートルの大きな画板が。この画板はまだ書きかけで、これから子どもたちが作る作品を貼り付けてアートを完成させます。

企画・進行は学園前アーツフェスタ2022のディレクターを務める小國陽佑さんと現代アーティストの中元俊介さん。今回の作品コンセプトは「灯す」。地域の子どもたちが街に明かりを灯すように、架空の景色の風景画の中にグラデーションを生かした作品を貼り付けていくことでアーティストの独自の表現手法を直接体験できます。作業には

帝塚山大学教育学部の学生もスタッフとして参加しました。参考には白色の画用紙が配られ、その上に好きな色の絵の具を順次並べていきます。これをローラーで何度も転がすと、虹のようなきれいなグラデーションが着色が終われば、ロケットや星、山、自分のイニシャルなどを切り抜きます。きれいに仕上がった作品は画板に貼るだけではなく、家族にも見せようと大切に持ち帰っています。最後は舞台に集まり、お互いに作品を発表しました。

出来上がった作品はアートフェスタ開催期間中、大和キリスト教会に展示されます。



アート作品が完成。その前でみんなで記念撮影



絵の前に立って、自分の作品について説明します



できた作品を好きな形に切り抜きます



帝塚山大学の学生(右)もスタッフとして参加

## 8/27

# 学園前アートフェスタ 2022

## Canvas as Campus

キャンバス アズ キャンバス



澤田知子



杉本ひとみ



高田治



榎村太一



濱野裕理



わにぶちみき



池原悠太+木戸久仁子



馬渕洋



モリン児



藤原正和



梶山美祈



高松威



Yutan



中橋多恵子



松村大地



下野友嗣



藤森太樹



美和いちこ



クリスティーンフ林トサト



シュウ

2022  
11/5-12 Sat

時間：10:00～17:00

※一部、開館時間が異なる会場（中野美術館、大和キリスト教会）がございます。  
詳しくは、公式HPをご確認ください。

入場：無料 休館日：11月7日（月）

会場：近鉄「学園前」駅南北エリア（奈良県奈良市）

浅沼記念館 / 大和文華館 駐車場 / 帝塚山学園18号館 / GALLERY GM-1 / 旧福本家住宅  
中野美術館 / パラディ学園前 / 奈良市西部会館（ラウンジ、西部公民館、学園前ホール）  
学園南1-9ガーデン / 大和キリスト教会 / Kitchen-Lab KACOM

主催：学園前街育プロジェクト実行委員会（事務局：学校法人帝塚山学園内 奈良市学園南三丁目1-3 TEL：0724-41-4659）  
構成団体：奈良市学園南地区自治連合会、学校法人帝塚山学園、公益財団法人大和文華館、公益財団法人中野美術館  
奈良市・西部会館市民ホール（日本環境マネジメント株式会社）、公益財団法人奈良市生涯学習財團西部公民館、株式会社湯沢啓組、GALLERY GM-1  
企画・制作：NPO法人芸法

協賛：アユルヴェーダヘッドスパ&リラクゼーションサロン Ayuspa surya / 阿部クリニック /  
いちよし証券株式会社 学園前支店 / 医療法人 奥田眼科学園前診療所 / 医療法人 小島診療所 / 衛藤医院 /  
おはんざいと鶴と酒 ハナタレ / CADAS west / Cafe H&B / Cafe Kannai / 株式会社 エステージ / 株式会社 かくや /  
株式会社 ケーターコミュニケーション Lilonite / 株式会社 ハチャ巧芸 / カラダ改善工房 FMS / 学園前薬局 /  
喫茶と雑貨アンジョール / Kitchen-Lab KACOM / クルミ菓局（株式会社万治） / 紅茶工房 Legina /  
婚礼衣装 マチコドレス・アトリエ / salone di capelli BuoN / SAKTI SHANTI（三谷のヨガ教室） / 鍼灸 玄方院 /  
すいせん楽器 / スタジオデボ / スポーツクラブNAS学園前 / 積水ハウス不動産関西株式会社 / Domina /  
奈良シティハイツ / 株式会社 / HAT 株式会社 / パラディ学園前会 / ひだ歯科医院 / ピラティス・ヨガ スタジオクーラー /  
Blendz of arts / BOUTIQUE UNIFIL / briilee salon / ママンボ よもぎ蒸し・温痺・森田診療所 /  
大和野菜 イタリアン ナチュラ / リハビリティサービス 彦庵 / 642PIZZA

学園前アートフェスタ公式 HP & SNS

- ◆ HP : <https://www.gakuenmae.af.com/>
- ◆ facebook : <https://www.facebook.com/gakuenmae.af>
- ◆ twitter : [https://twitter.com/gakuenmae\\_af](https://twitter.com/gakuenmae_af)
- ◆ Instagram : [https://www.instagram.com/gakuenmae\\_af/](https://www.instagram.com/gakuenmae_af/)

詳しくはこちら



学園前アートフェスタ で検索

奈良市文化振興補助事業 後援：奈良県

同窓会だより  
(中高)

令和4年9月4日(日)

## 令和4年度総会・懇親会を開催しました

同窓会総会・懇親会が大阪市のシェラトン都ホテル大阪で開催されました。毎年、定期的に行われてきた本会ですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を見合わせており、実に3年ぶりに対面で催されました。

総会に続き、開催された懇親会には約110名が出席。卒業生は期ごとに着席するや否や、マスク越しでも分かる懐かしい顔ぶれに早速会話の花を咲かせていました。

冒頭、綿谷基会長の挨拶に続いて、帝塚山学園富岡将人理事長から祝辞が述べられ、帝塚山ファミリーの絆の強さを再確認するとともに、卒業生の今後のさらなる結束を誓いました。帝塚山ファミリーの一員である帝塚山幼稚園からも塚本真紀園長、伊倉明美園長補佐が来場。特に「帝塚山教育」のスタートとなる2歳児教育について、特色や教育内容を丁寧に説明されました。乾杯の音頭はこの日のために遠方からかけつけてくださった山内裕先生からなされ、いよいよ懇親会がスタートしました。開始早々、出席者のうち、喜寿そして米寿を迎えた皆さんに対してお祝いの品が贈られました。また、この日の参加者で最年長であられる2期生が登壇、フロアからは温かい拍手が起きました。会場全体は、卒業生

でプロミュージシャンの山口 mariさん(37期生)が奏でるサックスが流れ、場の雰囲気を上品に演出していました。

目玉企画である「お楽しみ大bingo大会」は、軽妙な司会のもと進められました。豪華景品が多数用意され、これには多くの卒業生が協賛しています。番号が読み上げられるたびに卒業生はハラハラドキドキ。見事いちばんにbingoとなった卒業生には商品券が授与されました(右写真)。ゲームが終了かと思えば、敗者復活のうれしい延長戦も行われ、盛り上がりは最高潮に達しました。



会の終盤では、帝塚山学園校歌、そして祝歌「茜雲」を出席者がマスク越しに齊唱しました。茜雲については、作曲された細谷清澄先生が今年お亡くなりになり、哀悼の意も表されました。

最後に、帝塚山学園松岡正格常務理事から閉会挨拶がなされ、三本締めで終宴。世代や学年を越え、旧交を温めていた卒業生の皆さんにはまた来年も会うことをお互いに固く約束していました。



綿谷同窓会長からの挨拶



祝辞を述べる富岡帝塚山学園理事長



この日の最年長2期生の藤井基弘さん(右)



綿谷同窓会長を囲んで久々の再開に喜ぶ卒業生

令和4年5月13日(金)  
7期生同窓会

コロナ禍の中での会食が緩和されたので3年ぶりに奈良市内で開催しました。全員米寿(88歳)となり、体の調子が悪い人や、老々介護の人が多く又遠方の人の出席はありませんでした。9人の出席でしたが、中学(新制中学1期生)入学当時に帰り、会話が弾みました。

来春に開催予定の同窓会は高校卒業後(昭和28年・1953年卒)70年の節目となり、幹事を選びました。

今回は、出席者も10名を切りましたが、世話をしてくれる同輩がいる限り続けて開催したいと思っています。さて、いつまで続くことやら…?

(7期生幹事 野原康彦 記)



# 80周年記念事業

ご協力、ありがとうございました。

パウダーコーナーの設置やトイレの美装化を進め、より快適な空間となりました。また、省エネタイプの空調設備を導入し、照明設備のLED化を行いました。さらに、無線LAN(Wi-Fi)も整備しました。

## Wi-Fi環境の整備

幼稚園、小学校、中学校、高等学校に新たな専用回線を配架し、167台のWi-Fiアクセスポイントを設置。ICT教育の一層の充実を図りました。



(令和3年8月完了)

## 食堂・トイレ等の整備



大学 学園前キャンパス14号館食堂  
(令和元年9月竣工)



幼稚園リズム室  
(令和元年8月竣工)



小学校3階南側トイレ  
(令和3年8月竣工)



小学校2階北側トイレ  
(令和2年8月竣工)



## 学園講堂設備の整備

中高はじめ、大学、小学校、幼稚園、各学校が使用する学園の中心施設である学園講堂(学園前キャンパス1号館)設備のデジタル化とLEDの照明設備の整備を行うとともに、300インチの大スクリーンを新設しました。また、天井の防災機能の強化を図りました。



(令和2年12月竣工)

帝塚山学園創立80周年  
記念募金



特設ホームページはこちら⇒  
<https://tezukayamagakuen.jp/80th/>

稻谷 俊朗 様	佐々木 星乃 様	高山 格次 様	近久 久子 様	中瀬 涼 様	長谷川 圭子 様	アーランドカバール恵様	増尾 朗 様	森 貞子 様	山本 清海 様
霧島 紀予 様	佐々木 美砂子 様	瀧 雄司 様	茶野 秀太郎 様	中林 良仁 様	長谷川 隆二 様	深井 保男 様	増田 増 楽 様	森 茂子 様	山本 児子 様
桐山 博徳 様	佐藤 匡史 様	瀧川 喜才 様	佃田 芳子 様	中村 直子 様	長谷川 正一 様	深見 良子 様	増田 正司 様	森 成己 様	山本 成己 様
橋元 京子 様	佐藤 仁紀子 様	竹市 宗子 様	筑波 宣子 様	中村 浩一 様	旗谷 雄二 様	深山 佳代 様	増田 離三 様	森 北 佐和子 様	山本 富久子 様
久保 慶一 様	佐藤 恒恭 様	竹内 麻記 様	内藤 順子 様	中村 将太 様	服部 豊鵬 様	福井 賢一 様	増成 清行 様	森 佳世子 様	山本 順英 様
久保 昌城 様	澤 佐和子 様	竹内 真由美 様	辻井 昭雄 様	中村 元子 様	花谷 茂子 様	福井 基行 様	松浦 昭文 様	森 信司 様	横見 博之 様
久保井 たみ子 様	塙 見修 様	竹田 長英 様	辻川 ひとみ 様	新川 みどり 様	花房 笑子 様	福岡 益実 様	松浦 昭良 様	森 田 吉川 様	吉岡 由雅里 様
久保田 清美 様	重本 和泰 様	武田 晴祐 様	辻本 光世 様	新山 長裕 様	浜口 和人 様	福田 雅実 様	松江 温子 様	森 田 勝久 様	吉川 勝久 様
久保利 陽子 様	七条 光弘 様	竹中 裕昭 様	津田 聖子 様	西海 文子 様	濱田 健徳 様	福田 義子 様	松江 優子 様	森 島 美樹 様	芳川 隆行 様
藏本 博行 様	失尾 美奈子 様	竹本 大哉 様	土田 雄三 様	西尾 和美 様	濱田 康子 様	福永 亘 様	松尾 和子 様	森 久 杏子 様	吉田 早緑 様
栗栖 多恵子 様	柴田 正夫 様	辰巳 義幸 様	脇内 建行 様	西尾 浩 様	林 尚佳 様	福村 常敬 様	松尾 健司 様	森 本 鴻美子 様	吉田 知賀 様
串崎 心音 様	柴田 正美 様	立石 美紀 様	妻鹿 泰子 様	西川 由季子 様	林 若奈 様	福本 清輝 様	福岡 喬一郎 様	吉田 梨子 様	吉田 りえ 様
小出 誠樹 様	芝野 貴士 様	田中 真 様	寺嶋 万里 様	西口 廣宗 様	林 幹夫 様	藤井 康二 様	松岡 誠 様	屋嘉比 恵子 様	吉田 りえ 様
高成勲 様	島田 宇佐美 様	田中 承子 様	寺西 太亮 様	西口 まゆり 様	原 明日美 様	藤岡 常仁 様	松岡 正格 様	矢中 雅代 様	吉富 未悠 様
小柴 幸苗 様	下村 洋子 様	田中 治美 様	土居 売 様	西口 由利子 様	原田 清美 様	藤田 敬 様	原田 幸子 様	柳 元和 様	吉富 佑哉 様
後藤 まさか 様	下山 佳子 様	田中 久夫 様	徳永 加代 様	西口 純弘 様	原田 百華 様	藤田 俊郎 様	松下 千春 様	矢野 千春 様	吉羽 明美 様
小西 亮志 様	朱 桂愛 鶴 様	田中 宏幸 様	富井 行克 様	方人 様	春 峯子 様	藤本 政功 様	松嶋 富士夫 様	矢野 富士夫 様	吉村 公一 様
小西 浩嗣 様	上田 早和子 様	田中 平八郎 様	将人 様	西澤 公子 様	馬場 峰子 様	藤本 有美桂 様	松本 伸子 様	矢辺 法子 様	米浦 信昌 様
小林 永治 様	新屋 珠美 様	谷 雄美子 様	富田 敏子 様	西田 昭治 様	日浦 成彦 様	藤原 一代 様	松元 弘幸 様	洋子 様	蓮花 一己 様
小林 正典 様	菅沼 典子 様	谷掛 富美子 様	豊川 宝造 様	西原 崇浩 様	日置 畏久 様	藤原 永年 様	松本 龍平 様	山内 成治 様	脇 京子 様
小林 美和 様	杉本 照 様	谷川 正則 様	取川 正一 様	西村 時生 様	日置 置治 様	藤原 由紀子 様	松本 龍平 様	山内 谷脇訓子 様	分島 彰久 様
小原 剛 様	鈴江 錦弓 様	谷口 淳一 様	直江 広隆 様	西村 岳洋 様	日置 友輔 様	古谷 節子 様	水野 邦夫 様	山岡 浩美 様	鶴田 春島 様
駒田 和子 様	和子 様	鈴木 智子 様	谷口 哲也 様	永井 篁景 様	東 友香 様	保坂 岳 様	水野 輝久 様	山口 美鈴 様	和田 淳一 様
小松 まゆみ 様	鈴木 正宏 様	谷口 裕子 様	中井 美智子 様	西村 康 様	東本 かおり 様	堤 有希 様	水野 貴久 様	山崎 哲 様	綿谷 基 様
細木 邦廣 様	芹井 亮一 様	谷口 陽子 様	中井 資治 様	西山 慎吾 様	穂口 真樹 様	堤内 俊介 様	南野 多加子 様	山崎 宏造 様	渡部 高徳 様
近藤 聰 様	曾根 秀一 様	谷所 愛子 様	中嶋 惠美子 様	野口 顯 様	久村 佳代 様	本田 節子 様	宮城 美保子 様	山崎 宏造 様	和田 基 様
齊藤 康博 様	孫 游 様	谷村 恵巳子 様	中嶋 微 様	野津 寛美 様	肥田 智子 様	本田 刚 様	三好 郁子 様	山田 洋平 様	谷脇 敏之 様
坂野 勝彦 様	第十 由香 様	田原 登志子 様	永田 環 様	野々村 一般 様	肥田 仁一 様	本田 直樹 様	村尾 忠廣 様	山田 経彦 様	和谷 やよい 様
坂本 千鶴 様	高井 宏文 様	田渊 敬昌 様	長田 葉子 様	登 昌代 様	肥田 勇一郎 様	前田 憲一郎 様	村上 虹 様	山中 隆行 様	ほか匿名希望者 1,298名
坂本 千春 様	高島 実 様	玉井 利一 様	長田 洋子 様	野村 至弘 様	非井 賢一郎 様	前田 戴哉 様	村上 春彦 様	山中 照惠 様	
坂本 裕子 様	高編 美由紀 様	玉置 陽介 様	中西 邦子 様	羽鹿 由里子 様	平尾 陽子 様	牧本 春香 様	毛利 一郎 様	山中 美枝子 様	
佐久間 桂子 様	高橋 順子 様	蒲谷 隆 様	中西 邦一 様	橋爪 咲 様	平田 雅子 様	牧本 佳久 様	吉澤 愛 様	山中 邦浩 様	
櫻井 惠子 様	高橋 真理子 様	福谷 刚 様	中野 勝夫 様	橋本 望 様	平昌 春彦 様	間下 直佳 様	本島 かおる 様	山内 和樹 様	
佐々木 香奈 様	高宮 郁夫 様	丹野 和美 様	中野 定子 様	橋本 美樹 様	廣田 和教 様	増井 敏伯 様	元山 忠則 様	山本 香 様	



# 帝塚山学園創立

多くの方々からあたたかいご寄付をいただきました。



## I 安全・安心と快適・エコキャンパスへ転換

### 大学 東生駒キャンパス パウダールーム 「Leaf Room」

「Leaf」は、「葉、ページ」という意味があり、「Turn over a new leaf」は、「前向きな気持ちへ入れ替える」という意味になります。

学生生活の中では、「1限目の前に気を引き締める。」「昼食後に授業に向けて気持ちを切り替える。」「授業の合間に思考を切り替える。」「友達と過ごす時間と一人の時間を切り替える。」「就職活動にむけて気を引き締める。」など、気持ちを切り替える瞬間がたくさんあります。

東生駒キャンパス食堂内に整備されたパウダールーム「Leaf Room」は、お化粧を直すだけでなく、「気持ちを切り替える場」として、ソファや植栽を設置し、リラックスできる空間として多くの女子学生が気兼ねなく、利用できる空間になっています。



(令和4年3月末竣工)



学園前キャンパスにも  
パウダーコーナーを設置しました  
(14号館食堂フロア・令和元年9月竣工)

### 帝塚山学園創立80周年記念募金 ご芳名一覧

帝塚山学園創立80周年記念事業の趣旨にご賛同いただき、ご寄付を頂戴した皆様への御礼の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。なお、ご芳名については、令和4年5月末日までにご寄付を頂戴した法人・団体及び個人の方で、令和4年6月末までに連絡票にてご芳名の公表の意思をご確認させていただいた方のみ、五十音順で掲載いたしております。

#### 法人・団体

株式会社青木環境サービス 様 アスカ美装株式会社 様 アドバンスシステム株式会社 様 株式会社あらき商店 様 株式会社インターネットイニシアティブ 様 株式会社内田洋行 様  
SMBC日興証券株式会社 様 株式会社エヌケイ深井 様 大川運輸倉庫株式会社 様 株式会社大林組 様 奥アント一力株式会社 近畿支店 様 株式会社ガーデンラボ 様  
医療法人香月会 学園前クリニック 様 株式会社吉祥 様 共同精版印刷株式会社 様 株式会社さんでん 様 有限会社広恵 様 特定非営利活動法人サイバー・キャンバス・コンソーシアムTIES 様  
三櫻工業株式会社 様 株式会社シーズ 様 株式会社JR西日本コミュニケーションズ 様 総合警備保障株式会社 様 株式会社總務部 様 Daigasエナジー株式会社 様  
株式会社ダイヤ書房 様 大和証券株式会社 様 帝塚山学園同窓会 様 帝塚山短期大学同窓会 様 帝塚山大学同窓会 わかみどり会 様 帝塚山中学校高等学校育友会 様  
東西建築サービス株式会社 様 株式会社東急コミュニケーションズ 様 株式会社東畠建築事務所 様 株式会社なら工務店 様 株式会社奈良事務機 様 奈良テレビ放送株式会社 様  
株式会社奈良良保健衛生社 様 株式会社南都銀行 様 野村證券株式会社 様 阪和通工株式会社 様 株式会社ジワワ 様 株式会社不二家商事 様 有限会社古山厨房 様  
株式会社文教クリステル 様 株式会社マッシーン 様 丸善雄松堂株式会社 大阪支店 様 有限会社三笠商会 様 みずほ証券株式会社 奈良支店 様 株式会社三井住友銀行 様  
三菱UFJモルガンスタンレー証券株式会社 様 株式会社明新社 様 株式会社山上組 様 リコージャパン株式会社 奈良支店 様 ほか匿名希望3法人

#### 個人

相川 貴文 様	有山 喜七郎 様	石橋 善之助 様	今里 泰彦 様	鵜飼 啓子 様	太田 喜久恵 様	尾角 正人 様	小田 登志子 様	加藤 孝 様	岸田 淳 様
相澤 英則 様	有山 志忠 様	泉 理恵子 様	入江 一樹 様	臼井 章浩 様	太田 患子 様	岡野 智之 様	越智 弘美 様	加藤 編子 様	北浦 伊都子 様
栗生 美江子 様	井浦 哲平 様	泉川 雅恵 様	岩井 忠恕 様	内薗 香織 様	太田 真穂子 様	岡橋 知里 様	落合 史生 様	門谷 雅代 様	北澤 克仁 様
栗生 延見子 様	五十嵐 郁子 様	市場 満津子 様	岩成 直子 様	卯西 恵理 様	大竹 紀代子 様	岡橋 浩伸 様	小津 敏 様	上村 規子 様	北中 江都子 様
青木 修 様	池田 高己 様	伊藤 英一 様	上田 栄子 様	海野 照美 様	大谷 友希 様	岡本 美紀 様	小野 貴代 様	龜井 貴志 様	北村 卓司 様
青木 仁美 様	池田 節 様	伊藤 太祐 様	上田 和広 様	梅田 四郎 様	大塚 延智子 様	岡本 由記 様	尾畠 逸 様	龜井 宣男 様	木藤 秀一 様
秋山 静香 様	石井 欽三 様	伊藤 利洋 様	上田 圭子 様	浦井 善宏 様	大西 博子 様	岡山 房惠 様	小原 伸子 様	龜本 千世 様	木南 正彦 様
浅尾 昭子 様	石井 万紀子 様	伊藤 篓子 様	上田 隆 様	榎本 宏成 様	大庭 佳久 様	小川 育子 様	柿谷 伽耶実 様	茅野 紙子 様	網野 公一朗 様
朝岡 伸夫 様	石香 美智子 様	伊東 宏彦 様	上田 晴美 様	榎本 雅夫 様	大橋 寛 様	奥井 健一 様	柿谷 瑞紀 様	川村 裕子 様	木下 朋枝 様
註本 法季 様	石川 育代 様	戌井 純子 様	植田 麻衣子 様	榎本 佑規 様	岡 務 様	奥出 仁美 様	角矢 昌太 様	川添 一郎 様	木村 畏 様
足立 幸子 様	石川 直子 様	井上 俊子 様	植田 泰正 様	榎原 昌子 様	岡崎 晋明 様	奥村 拓磨 様	片岡 安子 様	川田 直子 様	木村 実子 様
渥美 良和 様	石田 敬穂 様	井上 幸信 様	上野 周真 様	戎野 久美子 様	岡田 久美子 様	奥村 由美子 様	香月 慶太 様	川那部 顯 様	木村 清彦 様
阿部 多津子 様	伊地知 久美 様	猪木 浩二 様	上村 陶子 様	尾上 道子 様	岡田 尚士 様	小崎 正雄 様	香月 太郎 様	川村 俊太 様	満岡 愛 様
有山 雄基 様	石塚 栄二 様	今木 加代子 様	魚橋 敏泰 様	大島 邦夫 様	岡田 晃久 様	尾崎 美智子 様	勝美 芳雄 様	上田橋 律哉 様	清岡 義教 様



学校法人帝塚山学園  
Tezukayama Gakuen



「**T-time**」を  
スマートフォンで！  
スマートフォンなどでも、  
本誌をお楽しみください。

【編集・発行】帝塚山学園 本部事務局教育連携課 〒631-0034 奈良市学園南三丁目1番3号 Tel: 0742-41-4750 / Fax: 0742-48-9894

